

地方独立行政法人大阪府立病院機構 平成20年度計画のポイント～新たな飛躍をめざして～

【基本方針】

平成20年度計画では、中期計画を着実に進めるとともに、府民ニーズや新たな医療課題に適切に対応するため、次の観点から目標を設定し、その達成に取り組むこととする。

- I 府立の病院が府医療施策を先導し、各病院に位置づけられた公的使命を果たすため、病院の役割・特性に応じて、大阪府保健医療計画等を踏まえた診療機能の充実・強化に取り組む。
- II 患者、地域、医療スタッフ等にとって魅力のあるマグネットホスピタルをめざして、医療スタッフの確保・育成、労働環境の改善を図るとともに、患者・府民の満足度を一層高める取組を進める。
- III 将来にわたって持続的発展が可能となるよう、人的・物的投資を戦略的に行いつつ、収支の改善を図り、経営基盤を強化して、不良債務の計画的解消を図る。

【ストラテジー】

I 公的使命を果たすために

1 診療機能の充実〔各病院の役割・特性に応じた取組み〕

- 【急性期・総合医療センター】
- 脳卒中等の救急患者に対する当初治療からの一貫したリハビリテーション医療を実施
 - 生活習慣病対策の一環として、メボ外来、CKD（慢性腎臓病）外来等の設置
- 【呼吸器・アレルギー医療センター】
- 肺がん等の早期発見、早期治療にかかる診療機能の強化（集学的治療の充実）
 - 専門看護師等による呼吸器看護専門外来を充実し、在宅酸素療法患者を支援
- 【精神医療センター】
- 19年度入札不成立の再編整備事業について、入札条件等を再精査の上、事業を進める
 - 子どもの心の診療拠点病院をめざして、心の問題を抱えた子どもを対象に専門外来診療を強化、関係機関への診療支援、ネットワーク事業、啓発活動を実施
- 【成人病センター】
- 難治性がん患者に対し、手術、放射線治療、化学療法などを効果的に組み合わせた集学的治療を行うとともに、緩和ケアを充実するなど、患者負担の少ない治療とケアの充実を図る。
 - 都道府県がん診療連携拠点病院として、地域医療機関の技術的支援・連携を強化
- 【母子保健総合医療センター】
- 産婦人科診療相互援助システム（OGCS）、新生児診療相互援助システム（NMCS）の基幹病院として、夜間の重症妊婦等の緊急搬送を迅速にするための調整機能の役割を果たす

2 医療の質を向上させるための仕掛けづくり

- 他病院との比較可能性を考慮しつつ、臨床評価指標の設定、検証
- 診療費明細書の交付など患者が診療内容を理解しやすい情報の提供、説明
- 医師の診療科評価、メリットシステム、職員表彰等医療スタッフにインセンティブを与える制度の確立
- 治験拠点医療機関としての治験推進、国の研究班への参加等研修・研究の充実
- 医療事故等医療に関する透明性を高めるとともに、医療安全対策を徹底

II マグネットホスピタルの実現

1 優れた医療スタッフの確保・育成

- (1) 連携による医療スタッフの活用、育成
 - ・病院間の連携による専門分野の法人内研修の実施等人材活用のネットワーク化
 - ・大阪府立大学と締結した協定のもと、両法人の交流を促進し、看護師実習の受け入れを進める
- (2) 医師等の労働環境の改善
 - ・育児を行う医師等を支援するため、院内託児所の時間延長や常勤のまま1週間当たりの勤務時間を短くすることができる制度を導入
- (3) 研修の充実
 - ・成人病センターで、がん治療認定医の受験資格が得られる専門がんコース（後期研修プログラム）を実施、他の4病院も専門性を活かした研修内容により、臨床研修医及びレジデントの受け入れを拡大

2 患者・府民の満足度向上

- (1) 病院特性に応じた患者満足度調査の実施とフォローアップ
- (2) コンビニエンスストア等の導入や駐車場の整備等患者のニーズや利便性の向上のための施設整備を実施

3 地域への貢献、情報発信

- (1) 最新の治療法等に関する研修や地域医療連携パスの作成など地域医療機関への支援・連携。急性期・総合医療センターで地域医療支援病院の機能取得に向けた条件整備に取り組む。
- (2) 急性期・総合医療センターで地域の小児医療機関から24時間患者を受け入れる小児医療センターの設置
- (3) 府民講座の開催やHPの活用による医療情報発信機能の充実

III 経営基盤の強化・不良債務の計画的解消

1 戦略的な人的・物的投資

- PDCAサイクルの中で、評価制度を通じて全職員が一体となって法人の課題に取り組む意識を醸成
- 法人採用（プロパ）職員の計画的採用・育成、看護師のキャリアパスの具体化
- CM（コンストラクション・マネジメント）方式による円滑かつ弾力的な改修・工事の推進
- 中期計画に掲げた精神医療センター再編整備（PFI事業）の推進、成人病センター建替え技術的調査の実施

2 収支の改善

- 予算管理の弾力化を必要に応じて図りつつ、収入に見合った費用を計上し、経費の精査を徹底
- 複数年にわたって計画未達成の病院については、重点的に収入確保と費用抑制に取り組み、医業収支比率を改善
 - (1) 収入確保
 - 地域医療機関との連携強化等に伴う患者確保、診療報酬上の上位基準取得等による診療単価向上
 - 診療報酬の請求漏れ及び減点の防止のための精度調査の実施とこれを活用した専門研修の実施
 - (2) 費用節減
 - IT化・アウトソーシングによる組織の効率化、職務給の原則に立った制度運用等により給与費を抑制
 - SPDによる材料費の削減がより効果的になるよう、医療材料における同種同効品の集約化の拡大